

2025 年 3 月 9 日
JK1GBE ジィビー

昨年の忘年会で S さんからヘンテナのキットを QSY していただいた。（深謝） このヘンテナは、故 JA1BSZ 小沢 OM が改良したものをキットにして大量製作して 240 グループ各局に頒布されていたなかの 1 セット。S さんがじゃんけん大会の景品として提供、幸運にも当局が譲り受けることになった。

ヘンテナはとてもよい性能と聞いていたので、耳の悪い当局はすぐにでも使いたいところだが、冬場は手がかじかんで思うように動かないので、まずは室内でできる作業を少しずつ進めてきた。今回はその途中経過を簡単に紹介する。まずはキットの内訳として、

写真 # 1 :

- ・ U 字マストクランプ 2 本
- ・ ブーム固定用ビスナット 6X30 mm 2 本
- ・ 割ピン 8 本（写真は 3 本）
- ・ 留めピン 8 本（写真では 4 本）
- ・ ミノムシクリップ 4 本（使用するのは赤黒各 1 本）
- ・ ガラスエポキシ基板 1 枚
- ・ 錫メッキ銅線 20 cm（未使用）
- ・ 結束バンド 2 本

写真 # 2 :

- ・ バラン製作用の同軸ケーブル 5D-2V 1.5m
- ・ 網シールド 7C 1m

写真 # 3（組立後） :

- ・ 丸クロスマウントパイプ 4 本
- ・ 角boomパイプ 1 本
- ・ エレメントシールド線（3m 2 本、1m 1 本、48 cm 2 本）

（boom 上部にクロスマウントを差し込んで割ピン留めして、クロスマウントに留めピンでエレメントのシールド線を架設、下部も同様）

写真 # 4 は、下のエレメントシールド線と上のエレメントシールド線をショートするためシールド線 1m で接続したところ、上部も同様。

写真 # 5 は、給電部（バラン）です。ガラスエポキシ基板に同軸ケーブル 5D-2V 1.5m をはんだ付けしてケーブル自体を結束バンド 2 本で固定。芯線側には赤ミノムシクリップからのシールド線 45 cm を半田付けする。被覆側には同様に黒ミノムシクリップからのシールド線 45 cm を半田付けする。バランとしては 7C の網シールド線 1m を 5D-2V に被せて容量を持たせる。シールド線は自己融着テープで保護した。

室内作業はここまでで今後の作業としては、ヘンテナ自体をマストに取り付け後、赤黒のミノムシクリップをそれぞれ上下のループに接続してショート線との距離を変化させて SWR を調整することになる。ということで、屋外作業はもう少し暖かくなってから行うので今回はここまで。今回も雑駁な寄稿となりましたが、何かの参考となれば幸いです。Tnx!



(写真 # 1)



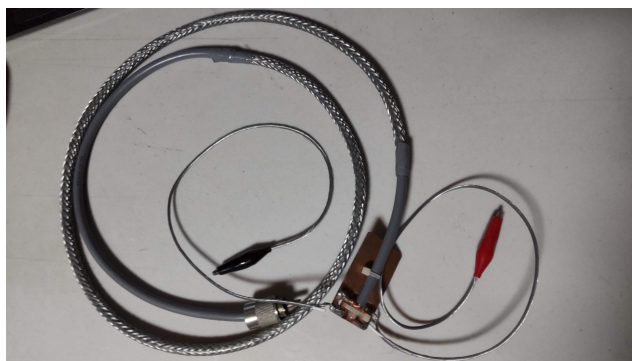
(写真 # 2)



(写真 # 3)



(写真 # 4)



(写真 # 5)